

3学年通信

能美市立根上中学校
令和4年(2022年)
6月28日(火) No.16

「認知症サポーター養成講座を受けて」 ～みんなの感想から～

自分は認知症の人が身近にいないので、今まで認知症にノータッチだったけれど、もしかしたら、おばあちゃんやお母さん・お父さんになるかも知れないし自分もなるかも知れないから、この講演会を受けることが出来て良かったと思いました。面白いところもあったので、最後まで集中して聴くことが出来たし、実際の演技を見て具体的にどうしたら良いかが分かりやすかったです。またお年寄りの人が道で何かしていたら、不審に思わず、様子を見て困っていると判断出来た時は、声をかけてみたり、自分の出来ることを考えて行動してみたりしようと思いました。今回はとても良い機会になったと思います。(5組 女子)

今日の講演会で認知症の人に対する気持ちが変わりました。もし道で高齢者が困っていたら優しく声をかけようと思いました。最初は少し怖いですが、自分から助けてあげたら、その高齢者の方も嬉しくなると思います。誰かが何かをしてくれるだろうという考えは捨てて、今ここで自分が助けようという気持ちになることが大事だと思いました。特に「驚かせない」ためにその人と同じ目線で話してみる、後ろからではなく前に行って驚かせない様にしようと思いました。

寸劇があって、大体こんな感じだということが分かりました。中学生の役にもなってくださり、楽しく、そして分かりやすく学ぶことが出来ました。そういう一つ一つの助けが広がるとSDGsの3に繋がって優しく安心な世界が作られると思いました。自分の将来のことも、家族の将来のことも考えられる良いきっかけになりました。(5組 女子)

この講演会で認知症の人に会ったらどうしたら良いかが分かったので良かったです。驚かせない・急がせない・自尊心を傷つけないの「3つのない」のうち一つでも行動出来たら良いと思いました。認知症の人への対応を学ぶ時の寸劇が面白く、そして認知症についてより知れたので良かったです。お祖母ちゃんやお祖父ちゃんが認知症になったとしても、優しく話したり相手の言葉をよく聞きたいです。

昔、根中の生徒が、あるおばあちゃんを助けた話を聞いて、私も困っている人がいたら助ける人になりたいと思いました。(3組 女子)

今日「認知症」を少しでも知れて良かったです。最初はという風に対応すればよいか、認知症って何のことをいうのか分からなかったけど、今日学べて良かったです。

認知症のおばあちゃんが道で困っていたら、声をかけて、そこでも驚かせたり急がせたりせずに丁寧に対応することが大事ということが改めてわかり、良かったです。自分にもお祖母ちゃん、お祖父ちゃんがいて、少しでも正しい対応をとっていきたいと思いました。(3組 男子)





今日の講演を聴いて、認知症とはどのようなことか？どのように接すればよいかなどを知ることが出来ました。高齢者が驚かないために、一人で声をかけ優しく穏やかにはっきりとした話し方で、ゆっくり接することを意識し、どこかで困っている人がいたら習ったことを活かしたいです。寸劇もして下さって、とても分かりやすかったです。少し茶番があって楽しく覚えられました。私は、お祖母ちゃんやお祖父ちゃんに長生きしてもらうためにも、3つの「ない」を忘れないで、認知症サポーターとして、これからも色々な人を助けて行きたいです。

（1組 女子）

私の親族には目立った病気の人や認知症の人はまだいませんが、少々物忘れがある人が何人かいます。物忘れや行動の制限は決して病気ではなく、高齢になるにつれて起こりやすく、いつあっても不思議ではないことを知りました。また、認知症は病気ではありますが、治す方法もあること、患者本人の意思はあることを知りました。「認知症だから」「忘れやすいから」と先入観をもって距離をとらず、同じ人間として誰もが分け隔てなく、高齢者と接してほしいと思いました。

（1組 女子）

私の家は母の両親との二世帯住宅で、今回のキャラバンメイト講演会で認知症の症状や接し方を学びました。接し方は驚かせない・急がせない・心を傷つけないの3つの「ない」と見守る・やさしく話す・相手の言葉を聞くなど7つのポイントを意識して、自分のお祖母ちゃんやお祖父ちゃん、地域の人とかかわっていきたいです。また、高齢者の方とかかわって行く中で、認知症への理解を深め、これからも色々な人とかかわっていきたいです。

（4組 女子）

認知症を発症している人を見かけた時、3つの「ない」を意識して接してあげたいです。また今日の授業を通して寸劇を見て、どのように接すべきか具体的に知れて良かったです。今まで自分は、認知症は誰でも発症するのだと思い込んでいたけれど、認知症は何かしらの病気が原因で起こるのだと、改めて知りました。自分も自分のお祖父ちゃん・お祖母ちゃんが認知症を発症しているのかな？と感じた時は、このことをしっかりと活かして接してあげたいです。

（4組 男子）

「まるばあ」を見て、あのようにつけていけば良いと改めて思いました。とても分かりやすかったです。特に自分はお祖母ちゃんやお祖父ちゃんと暮らしているので、自分から気を配っていきたく思いました。僕は認知症サポーターとして身内だけでなく、町で見かけた認知症の人にも声をかけて、3つの「ない」を守って行きたいです。

（2組 男子）

僕はこの講演会を聞いて、認知症の怖さと人との接し方を学びました。しかし認知症は治るので、そこは安心しました。キャラバンメイトの皆さんの実演がとても面白く、分かりやすかったので、もし年をとっているおじいちゃん・おばあちゃんがいたら、講演会を思い出して接し、助けてあげたいです。そして親戚の人でも認知症になったら助けてあげたいです。もし、そのようなことが起きたら、その人の負担にならないようにしてあげたいです。

（2組 男子）